

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	出身者ネットワーク推進事業	会計	一般会計	事業No.	749	施策順No.	29-006
		事業種別	政策・その他	予算科目	0予算事業		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	生涯学習・スポーツ課		
施策	29 ふるさと意識の醸成			事業期間	開始	19	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯田市出身者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						
	対象をどう変えるか	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	市外に在住している飯田出身者のふるさと意識を高める						
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)						目標達成度
		19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	B
		10	80	257	270	261	270	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価あり】	メールマガジン登録数が微増							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	飯田市出身者のうち、団塊の世代(昭和22年～25年生まれ)を中心に、電子メールを使用した情報ネットワークを構成する。地育力公式サイト「地育力どっとネット」の情報をメールマガジンによって広報し、当市の教育について多くの方に周知する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	地育力メールマガジンの配信	配信回数	12回
23年度実施計画	※地育力公式サイト「地育力どっとネット」によるメルマガ配信のため、上位施策の目標が同じ地育力向上連携システム推進に統合して実施する。		

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	一般財源					
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
	計 (A)		0	0	0	
	正規職員所要時間			100		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計 (B)			358		
	トータルコスト A+B			358		

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・議会から、「施策の目的に繋がるよう組み立てを直し、積極的な取り組みをされたい」「部課を越えて情報の再構築を計り、人材バンクの創設も必要」「市のホームページを充実し、飯田出身者への情報発信が必要」の提言をいただいている。 ・基本構想基本計画推進委員会から、若い世代への取り組みを若い世代の意見を聞いて検討できないかと提言をいただいている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①市民が地域を知る ②市民が地域を誇りに思う	施策の成果指標又はムトス指標	ふるさとを誇りに思っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	飯田の出身者との交流を進めることによって、飯田では得ることのできない情報やつながりが生まれ、市民が地域を見直し地域を誇りに思う心の醸成につながる。		
	後期に向けた課題	地育力に関する情報発信を行うもので、飯田の出身者との交流する機会を設け市民が地域を見直すきっかけとなる取り組みも必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	飯田市の出身者等に地域に対する関心を持ってもらえるよう、地育力の取り組みについて情報発信を行ってきた。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	0予算事業のため、これ以上の削減は難しい。		
	後期に向けた課題	地育力向上連携システム推進計画に統合して、飯田市出身者への情報発信を実施していく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	飯田市の出身者に「地育力の取り組み」を情報発信するものであるため、地育力の施策を実施する市が関与する必要がある。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	離れていてもふるさとに関心を持ち続け、飯田を思う心を持ち続けてもらうきっかけとなっている。		
	後期に向けた課題			

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------